

大里中学校 音楽科シラバス 3学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「中学生の音楽2・3下」
「中学生の器楽」

- ・歌唱や器楽、鑑賞を通して「芸術としての音楽」を学習する。
- ・歌唱や器楽などの自己表現力」の育成や、音楽鑑賞などによってその美しさを感じ、感受性を豊かにするなど音楽を通して芸術文化を総合的に学習する。
- ・国際社会に通じる、日本と世界の音楽を学習する。
- ・各々の生徒に対応した実技テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現力の可能性を引き出し音楽の持つ美しさやその多様性を感じ得ることを目標とする。

2 授業の進め方

- ・一斉指導、グループ指導、個別指導、自主的学習を組み合わせた授業を行う。
- ・ICT導入に際しては、iPadを適宜利用して授業を行う。

3 学習上の留意点

- ・授業中、鑑賞中、演奏中において聴くことに集中する。
- ・自ら音楽を実践（演奏）できること。
- ・積極的に授業に参加すること。
- ・授業には、学習用具とリコーダー、筆記用具を持ってくること。
- ・遅刻はしない。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・単元に合わせたプリントを配布、配信する。
- ・効果的な映像を視聴する。

5 単元テスト

- ・単元の終了に伴い単元テストを実施し、学習の習熟度を知る。

※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・歌唱、器楽で演奏技能を発揮する ・鑑賞曲の構成を理解して鑑賞し適切な感想を書く ・単元に合わせた動画やプリントを使い、知識を深める	・音楽的であり創意工夫された表現力を発揮する ・鑑賞において、その楽曲の構成や音楽的な工夫、歴史的な背景に興味を持ち、適切な感想を書く ・知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって聴く	・歌唱・器楽での積極的な態度で取り組む ・学習用具を揃え、楽しみながら音楽に取り組む
この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。			
方法	・リコーダーテスト ・歌唱テスト ・記述式テスト ・単元プリント提出	・実技テスト ・記述式テスト ・単元プリント提出	・実技テスト ・単元テスト ・学習用具点検